

3584LT0 ライブラリ Firmware

バージョン: 5050

目次

1. 対象装置
 2. firmware ダウンロードに関する注意
 3. ダウンロード時間
 4. firmware ダウンロード後のシステム・リブートについて
 5. 前 Firmware レビジョン確認
 6. Firmware 自己解凍ファイルのダウンロード
 7. システムへの Firmware コピー
 8. Firmware ダウンロード方法
 9. ダウンロード 後の Firmware レビジョンの確認
 10. 終了作業
-

はじめに

本手順書は、3584LT0 ライブラリのメディア・チェンジャ(ロボット)部の Firmware を最新レビジョンに更新するために提供されています。

お客様御自身で最新の Firmware に更新することをお勧めします。

また、3584LT0 ライブラリのドライブ部の Firmware を最新レビジョンに更新するためには別途作業が必要となります。

詳細については、web サイトの LT0 テープ/オートローダのドライブ部の更新情報を参照下さい。

1.対象装置

THE-3584-L32/L52 (3584 LT0 ライブラリ装置(基本))

THE-3584-D32/D52 (3584 LT0 ライブラリ装置(拡張))

2.Firmware ダウンロードに関する注意

- (1) 本作業中は 3584LT0 ライブラリに対するホストからのアクセス厳禁です。 Firmware ダウンロードがホストアクセスと競合すると Firmware ダウンロードが失敗(ハングアップ)し、回復不能となることがあります。このため、本作業開始前に NetBackup 等のバックアップ・アプリケーションのデーモンを停止して下さい。(“8.Firmware ダウンロード方法”を参照して下さい。)
 - (2) 本作業には、3584LT0 ライブラリのロボット・スペシャルファイル(smc*)が必要です。
(“8.Firmware ダウンロード方法”を参照して下さい。)
上記(1)と合わせて、NetBackup 等のバックアップ・アプリケーション専用ロボット・スペシャルファイルが”使用可能”の場合は、これを”定義済”にして下さい。
NetBackup 等のバックアップ・アプリケーション運用上、ロボット・スペシャルファイルを削除している場合は、実施後にこれを作成して下さい。
 - (3) Firmware ファイルをシステムに ftp する場合、必ずバイナリで ftp して下さい。 ASCII にて ftp したファイルをドライブにダウンロードすると、Firmware ダウンロードが失敗(ハングアップ)し、回復不能となることがあります。
 - (4) テープ・ドライブにテープ媒体が挿入されている状態でダウンロードしないで下さい。
Firmware ダウンロードの実施前には、ドライブからテープ媒体を取外しておいて下さい。
 - (5) ダウンロード中は、3584 LT0 ライブラリのオペレータ・パネルを操作しないで下さい。
 - (6) Firmware ダウンロード中に電源を off しないで下さい。 ライブラリに損傷を与え、交換を余儀なくされる場合があります。
 - (7) システムへは、必ず解凍した Firmware ファイルをコピーして下さい。 Firmware 自己解凍ファイルは必ず WindowsPC にて解凍し、拡張子が “.bin” の Firmware ファイルをシステムへコピーして下さい。
-

3.ダウンロード時間

一般的なダウンロード時間は 0.4hr/ライブラリです。

4.Firmware ダウンロード後のシステム・リポートについて

システム・リポート,当該 LT0 ライブラリの P.OFF/ON 共に不要です。

5. 事前 Firmware レビジョン確認

既に最新レビジョンの Firmware である場合は作業不要です。以下に Firmware レビジョンのチェック方法を示します。

- (1) 3584 LT0 テープ・ライブラリのオペレータ・パネルにて、Activity 画面で MENU キーを押します。

```
Version 2460          Panel 0001
READY

[MENU] [PAUSE]
```

- (2) UP または DOWN キーを押して Vital Product Data を選択し、ENTER キーを押します。

```
Main Menu          Panel 0002

Library Status
Manual Operations
Settings
Usage Statistics
Vital Product Data
Service

[BACK] [UP] [DOWN] [ENTER]
```

- (3) UP または DOWN キーを押して Node Card VPD を選択し、ENTER キーを押します。

```
Vital Product Data Menu Panel 0300

Library VPD
Drive VPD
Node Card VPD
Control Port VPD

[BACK] [UP] [DOWN] [ENTER]
```

- (4) Accessor Controller Card の VPD 情報が表示されます。Firmware Version を御確認下さい。最新レビジョンでない場合は作業対象となります。また、次の Node Card VPD を表示するため、DOWN キーを押します。

```
Node Card VPD          Panel 0320

Frame 1
  Accessor Controller Card

  Part Number:      35L0892
  Serial Number:    YN100012
  Firmware Version: v2460

[BACK]      [DOWN]
```

- (5) Motor Driver Assembly の VPD 情報が表示されます。Firmware Version を御確認下さい。
最新レビジョンでない場合は作業対象となります。
また、次の Node Card VPD を表示するため、DOWN キーを押します。

Node Card VPD	Panel 0320
Frame 1	Motor Driver Assembly
Part Number:	35L0897
Serial Number:	0897YN10
Firmware Version:	v2460
[BACK] [UP] [DOWN]	

Node Card VPD	Panel 0320
Node Card VPD	Panel 0320
Frame 1	Operator Panel Card
Part Number:	19P3158
Serial Number:	YN100013
Firmware Version:	v2460
[BACK] [UP]	

- (6) Medium Changer CardPack の VPD 情報が表示されます。Firmware Version を御確認下さい。
最新レビジョンでない場合は作業対象となります。
また、次の Node Card VPD を表示するため、DOWN キーを押します。
- (7) Operator Panel Card の VPD 情報が表示されます。Firmware Version を御確認下さい。
最新レビジョンでない場合は作業対象となります。
-

6. Firmware 自己解凍ファイルのダウンロード

- (1) WindowsPC(1)へ Firmware 自己解凍ファイルを受信するためのワーク・ディレクトリを準備して下さい。
(ex. C:¥download)
- (2) ワーク・ディレクトリへ Firmware 自己解凍ファイルを Web からダウンロードして下さい。
- (3) ワーク・ディレクトリに格納した Firmware 自己解凍ファイルをダブル・クリックして解凍してください。解凍すると、Firmware 自己解凍ファイルと同じ名前で、拡張子が ".bin" の Firmware ファイルが作成されます。
例をあげると、5050.EXE という Firmware 自己解凍ファイルを解凍すると、5050.bin という Firmware ファイルが作成されます。

1 WindowsPC の OS は Windows2000(Build 2195 SP4)以降を推奨します。

7. システムへの Firmware コピー

- (1) システムの /tmp ディレクトリーに項番 6 で解凍した Firmware ファイルをコピーして下さい。

【注意 1】Firmware ファイルをシステムに ftp する場合、必ずバイナリで ftp して下さい。
ASCII にて ftp したファイルをドライブにダウンロードすると、Firmware ダウンロードが失敗(ハングアップ)し、回復不能となることがあります。

【注意 2】システムへは、必ず解凍した Firmware ファイルをコピーして下さい。 Firmware 自己解凍ファイルは必ず WindowsPC にて解凍し、拡張子が ".bin" の Firmware ファイルをコピーして下さい。

8. Firmware ダウンロード方法

(1) 【ダウンロード前の準備 1】

本作業中は 3584LT0 ライブラリに対するホストからのアクセス厳禁です。 Firmware ダウンロードがホストアクセスと競合すると Firmware ダウンロードが失敗(ハングアップ)し、回復不能となることがあります。NetBackup 等のバックアップ・アプリケーションのデーモンが停止しているか、下記【ダウンロード前の準備 2】実施前に再度確認して下さい。尚、NetBackup に関しては以下のコマンドを実行することでデーモンの停止を確認可能です。

【例】 /usr/opensv/volmgr/bin/vmps 何も出力されないことを確認して下さい。

(2) 【ダウンロード前の準備 2】

本作業には、3584LT0 ライブラリのロボット・スペシャルファイル(smc*)が必要です。 NetBackup 等のバックアップ・アプリケーション専用ロボット・スペシャルファイルが "使用可能" の場合は、これを "定義済" にして下さい。尚、NetBackup に関しては以下のコマンドを実行することで "定義済" にすることができます。

【例】 # rmdev | ovpass*
 ovpass* : NetBackup 専用ロボット・スペシャルファイル名

NetBackup 等のバックアップ・アプリケーション運用上、ロボット・スペシャルファイルを削除している場合は、実施後にこれを作成して下さい。尚、3584LT0 ライブラリのロボット・スペシャルファイル(smc*)は、下記コマンドで作成されます。

【SCSI 接続の入力例】

```
# mkdev c tape t 3584 s scsi p scsi* -w scsi_id,lun
scsi* : 3584LT0 ライブラリが接続されている上位 SCSI アダプタのスペシャルファイル名。
scsi_id : 3584LT0 ライブラリのメディア・チェンジャ SCSI ID。
Lun : 3584LT0 ライブラリのメディア・チェンジャ lun。 "1" を指定して下さい。
```

【Fibre 接続の入力例】

```
# mkdev c tape t 3584 s fcp p fscsi* -w 0xscsi_id,lun
fscsi* : 3584LT0 ライブラリが接続されている上位 Fibre-SCSI プロトコルのスペシャルファイル名。
scsi_id : Fibre-SCSI プロトコル上の 3584LT0 ライブラリのメディア・チェンジャ SCSI ID。
lun : Fibre-SCSI プロトコル上の 3584LT0 ライブラリのメディア・チェンジャ lun。 "1" を指定して下さい。
```

【出力例】

smc* 使用可能 作成された smc*が "使用可能" であることを確認して下さい。

(3) 下記コマンドを実行し、3584LT0 ライブラリのロボット・スペシャルファイル(smc*)が "使用可能" であることを確認します。

【例】# lsdev Cc tape

(4) (3) で "定義済" である場合、下記コマンドを実行し、3584LT0 ライブラリのロボット・スペシャルファイル(smc*)を "使用可能" にします。

【例】# mkdev l smc0

(5) (4) を実施した場合、再度(3)を実施します。

(6) tapeutil コマンドを実行し、ロボット・スペシャルファイル(smc*)に対して Firmware ダウンロードを実施します。

【例】# tapeutil -f /dev/smc0 ucode /tmp/3060.bin
Downloading microcode...
Updating VPD data...

【失敗例 1】存在しないロボット・スペシャルファイル(smc*)を指定した場合、下記メッセージが表示されます。ロボット・スペシャルファイル(smc*)を再確認して下さい。

```
# tapeutil -f /dev/smc20 ucode /tmp/3060.bin
Open failed: No such file or directory
```

【失敗例 2】他のプロセスで当該ロボットを使用している場合、下記メッセージが表示されます。ホストからアクセスされていないか再度確認し、これが停止した後にダウンロードを実施して下さい。

```
# tapeutil -f /dev/smc0 ucode /tmp/3060.bin
Open failed: Resource temporarily unavailable
```

【注意】Firmware ダウンロード中に絶対に電源を off しないで下さい。ライブラリに損傷を与え、交換を余儀なくされる場合があります。

(7) " # " プロンプトが表示され、Download が正常終了していることを確認します。

9.ダウンロード 後の Firmware レビジョンの確認

“ 5. 事前 Firmware レビジョン確認 ” と同一の手順を実施します。
Accessor Controller Card, Motor Driver Assembly, Medium Changer CardPack および
Operator Panel Card のレビジョンが更新され、且つ全てが同一レビジョンであることを
御確認下さい。

10. 終了作業

(1) 下記コマンドを実行して、システムから Firmware ファイルを削除します。

【例】# rm /tmp/3060.bin

(2) “ 8.Firmware ダウンロード方法 ” の中で、ダウンロード前の 3584LT0 ライブラリのロ
ボット・スペシャルファイル(smc*)が “ 定義済 ” であった場合、または削除されていた
場合は、下記コマンドを実行して “ 定義済 ” にします。

【例】# rmdev | smc0

(3) “ 8.Firmware ダウンロード方法 ” の中で、 NetBackup 等のバックアップ・アプリケー
ション専用ロボット・スペシャルファイルが “ 使用可能 ” であった場合は、これを “ 使
用可能 ” にします。尚、NetBackup に関しては以下のコマンドを実行することで “ 使用
可能 ” にすることができます。

【例】# mkdev | ovpass*

ovpass* : NetBackup 専用ロボット・スペシャルファイル名

(4) NetBackup 等のバックアップ・アプリケーション運用上、ロボット・スペシャルファイ
ル(smc*)を削除していた場合は、今後の Firmware レビジョン更新のためスペシャルフ
ァイルを削除しないでおくことをお勧めします。

(5) 項番 6 で WindowsPC に作成したワーク・ディレクトリを削除します。

株式会社 日立製作所 エンタープライズサーバ事業部 2006 年 2 月

(c) Hitachi, Ltd. 2006, All rights reserved.